

令和3年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅱ		演習	淡路 大致・岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
この授業では、作業療法士を目指すうえでの最低限の技能（コミュニケーション・援助・支援など）習得に向け、演習・グループワークを用いて学ぶ。また半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、客観的に自己評価ができるようになることを目指す。				
授業の到達目標				
1. 医療人・職業人として望ましい態度をとることができる。 2. 計画・実施・振り返りのプロセスを経験し、経験の中からの学びや課題について説明できる。 3. 自身の考えや行動などについて論理的に説明ができる。 4. 医療人としての最低限の技能を習得できる。 5. 半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、妥当な目標を再設定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	レクリエーション企画			
3	レクリエーション実施			
4	レクリエーション実施・振り返り			
5	ディベートとは			
6	ディベート計画			
7	ディベート実施			
8	神大解剖学実習準備 テスト			
9	神大解剖学実習			
10	実技練習（車椅子介助・血圧・体温脈拍測定）			
11	実技練習（車椅子介助・血圧・体温脈拍測定）			
12	実技練習（車椅子介助・血圧・体温脈拍測定）			
13	実技練習（車椅子介助・血圧・体温脈拍測定）			
14	実技試験（車椅子介助・血圧・体温脈拍測定）			
15	まとめ ポートフォリオ面接			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	ポートフォリオ面接(40%)および実技試験(40%)グループワーク（20%）の結果で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
グループワークを実施する。グループワークでは積極的に参加すること。予定変更となった場合通達する。				